



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



平成26年2月4日

上場会社名 京成電鉄株式会社

上場取引所 東

コード番号 9009 URL <http://www.keisei.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三枝 紀生

問合せ先責任者 (役職名) 経理部連結・受託課長 (氏名) 田口 正樹

TEL 047-712-7100

四半期報告書提出予定日 平成26年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	179,008	1.1	19,835	8.2	31,573	22.4	25,534	32.2
25年3月期第3四半期	177,115	4.4	18,326	18.7	25,805	45.7	19,318	78.9

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 27,820百万円 (35.4%) 25年3月期第3四半期 20,540百万円 (92.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	75.43	—
25年3月期第3四半期	57.07	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	745,004	240,369	31.6
25年3月期	741,982	214,708	28.4

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 235,264百万円 25年3月期 210,869百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	2.50	—	3.00	5.50
26年3月期	—	3.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	3.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	245,600	0.6	23,300	1.4	34,500	12.7	25,600	16.5	75.62

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期3Q	344,822,371 株	25年3月期	344,822,371 株
----------	---------------	--------	---------------

② 期末自己株式数

26年3月期3Q	6,297,566 株	25年3月期	6,298,017 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期3Q	338,524,710 株	25年3月期3Q	338,523,213 株
----------	---------------	----------	---------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外です。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、連結業績予想に関する事項は、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、経済対策等を背景に企業収益や個人消費が持ち直しつつあることに加え、雇用情勢に改善の動きが見られるなど、引き続き回復基調で推移いたしました。

このような状況の中で、当社グループは、全事業にわたり積極的な営業活動を展開するとともに、より一層の経費削減に取り組むなど、業績の向上に努めたほか、「BMK（ベストマナー向上）推進運動」にも引き続き取り組み、お客様サービスの向上を図ってまいりました。

その結果、全事業営業収益は1,790億8百万円（前年同期比1.1%増）となり、全事業営業利益は198億3千5百万円（前年同期比8.2%増）となりました。経常利益は、持分法投資利益の増加等により315億7千3百万円（前年同期比22.4%増）となり、四半期純利益は255億3千4百万円（前年同期比32.2%増）となりました。

なお、当社は、9月に千葉県市川市へ本社を移転いたしました。

セグメント別の業績は、以下のとおりであります。

<運輸業>

鉄道事業では、安全輸送確保の取り組みとして、高架橋等の耐震補強工事やデジタルATS設置工事等を継続して行いました。

大規模工事については、墨田区内の押上線連続立体化工事において、上り線高架切り替え工事の完了に伴い、8月から京成曳舟駅の上り線新ホームを供用開始いたしました。なお、台風26号の影響により、京成成田駅で法面土砂流出が発生したため、一部列車において運行時刻の変更等を行うとともに、復旧工事を実施しております。

営業面では、10月にダイヤの一部変更を行い、格安航空会社（LCC）到着便に対応するため上り最終スカイライナーの出発時刻を繰り下げたほか、快速特急を増発するなど、お客様の利便性向上を図りました。また、乗換検索サイトを活用したスカイライナーチケットの予約・購入サービスを導入したほか、「京成スカイライナー&メトロパス」等を海外の旅行会社や航空機内で発売するなど、各種営業施策を実施いたしました。

バス事業では、格安航空会社（LCC）の就航等に対応し、「東京シャトル」等を増便したほか、深夜急行バスの一部を成田空港まで延伸いたしました。このほか、一般乗合バス路線においては、酒々井町及び千葉市幕張地区における大型商業施設の開業に伴い、路線の新設及び変更を実施いたしました。高速バス路線においては、圏央道一部区間の開通にあわせ、木更津駅・君津駅～成田空港間の運行を開始いたしました。

なお、消費税率引き上げ相当分の適正転嫁のため、12月に鉄道及びバス運賃の上限変更認可申請を行いました。

タクシー事業では、無線業務の統合を進めたほか、スマートフォン用タクシー配車サービスを拡大し、利便性向上と効率化を図りました。

以上の結果、営業収益は1,007億6千6百万円（前年同期比1.8%増）となり、営業利益は154億3千万円（前年同期比3.9%増）となりました。

<流通業>

百貨店業では、各種イベントを開催したほか、売場の一部リニューアルを行うなど、販売の強化に努めました。

ストア業では、各種キャンペーンを実施したほか、コンビニエンスストアについて、京成八幡駅前店及び町屋駅店等の3店舗をオープンいたしました。

しかしながら、営業収益は534億8千1百万円（前年同期比1.3%減）となり、営業利益は6億7千3百万円（前年同期比16.9%減）となりました。

<不動産業>

不動産販売業では、「サングランデ千住大橋」及び「サングランデ千住曙町」等の中高層住宅や「グランデカーサ公津の杜」等の戸建住宅のほか、成田市公津の杜等の住宅用地を販売いたしました。ま

た、京成バス船橋営業所（花輪車庫）跡地において、中高層住宅「サングランデ船橋宮本」の建設に着手いたしました。

不動産賃貸業では、京成本社ビル1階の商業施設が稼働したほか、京成船橋駅西口の共同住宅及び船橋高架下施設の建設を推進いたしました。

以上の結果、営業収益は133億8千8百万円（前年同期比8.8%増）となり、営業利益は31億6千万円（前年同期比55.0%増）となりました。

<レジャー・サービス業>

ホテル業では、京成ホテルミラマールにおいて、各種宿泊プランを企画するなど、新規顧客の獲得に努めました。

旅行業では、新しい商品の企画・催行により、営業力の強化を図りました。

しかしながら、営業収益は76億7千8百万円（前年同期比1.1%減）となり、営業利益は2億1百万円（前年同期比41.1%減）となりました。

<建設業>

建設業では、分譲マンションの新築工事のほか、公共施設工事等を行いました。

以上の結果、営業収益は124億5千7百万円（前年同期比2.8%増）となり、営業利益は1億1千1百万円（前年同期比22.9%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産合計は、前期末比30億2千2百万円（0.4%）増の7,450億4百万円となりました。これは、減価償却等により有形固定資産が51億3千7百万円減少し、「現金及び預金」の減少等により流動資産が36億5千7百万円減少しましたが、持分法適用会社株式の増加等により「投資有価証券」が133億1千2百万円増加したことによるものです。

負債合計は、前期末比226億3千9百万円（4.3%）減の5,046億3千4百万円となりました。これは、借入金が減少したことによるものです。

純資産合計は、前期末比256億6千1百万円（12.0%）増の2,403億6千9百万円となりました。これは、四半期純利益255億3千4百万円の計上等により「利益剰余金」が234億7千3百万円増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の通期の業績予想につきましては、当第3四半期連結累計期間の業績を踏まえ検討した結果、平成25年10月31日に発表しました数値と変更はありません。

※業績予想につきましては、発表日現在で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	28,795	24,467
受取手形及び売掛金	17,166	15,271
分譲土地建物	14,672	13,241
商品	2,218	2,482
仕掛品	867	2,855
原材料及び貯蔵品	1,811	1,966
繰延税金資産	2,145	3,637
その他	20,353	20,448
貸倒引当金	△44	△43
流動資産合計	87,986	84,328
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	262,616	257,956
機械装置及び運搬具(純額)	17,971	17,415
土地	141,913	141,984
リース資産(純額)	32,640	30,866
建設仮勘定	42,329	44,078
その他(純額)	1,640	1,673
有形固定資産合計	499,111	493,974
無形固定資産		
リース資産	1,927	1,772
その他	9,182	8,633
無形固定資産合計	11,110	10,405
投資その他の資産		
投資有価証券	124,738	138,051
長期貸付金	614	651
繰延税金資産	13,467	12,891
その他	5,730	5,454
貸倒引当金	△910	△908
投資その他の資産合計	143,641	156,140
固定資産合計	653,863	660,520
繰延資産	133	155
資産合計	741,982	745,004

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,463	14,443
短期借入金	77,885	63,397
1年内償還予定の社債	10,000	20,000
リース債務	3,255	3,271
未払法人税等	5,103	2,377
前受金	40,420	48,255
賞与引当金	2,796	1,238
役員賞与引当金	66	38
その他	25,871	29,501
流動負債合計	181,862	182,524
固定負債		
社債	65,000	55,000
長期借入金	149,143	139,573
鉄道・運輸機構長期未払金	66,191	64,867
リース債務	20,924	19,203
繰延税金負債	2,011	2,072
退職給付引当金	31,112	30,989
役員退職慰労引当金	595	455
負ののれん	500	220
その他	9,932	9,727
固定負債合計	345,411	322,110
負債合計	527,274	504,634
純資産の部		
株主資本		
資本金	36,803	36,803
資本剰余金	28,485	28,485
利益剰余金	144,758	168,231
自己株式	△2,028	△2,028
株主資本合計	208,019	231,493
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,850	3,771
その他の包括利益累計額合計	2,850	3,771
少数株主持分	3,838	5,105
純資産合計	214,708	240,369
負債純資産合計	741,982	745,004

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
営業収益	177,115	179,008
営業費		
運輸業等営業費及び売上原価	132,806	132,903
販売費及び一般管理費	25,982	26,269
営業費合計	158,788	159,173
営業利益	18,326	19,835
営業外収益		
受取利息	200	204
受取配当金	160	182
持分法による投資利益	10,647	14,412
雑収入	1,272	1,265
営業外収益合計	12,281	16,065
営業外費用		
支払利息	4,428	3,958
雑支出	374	369
営業外費用合計	4,803	4,327
経常利益	25,805	31,573
特別利益		
工事負担金等受入額	367	382
受取保険金	601	4
その他	315	226
特別利益合計	1,284	613
特別損失		
固定資産除却損	85	443
固定資産圧縮損	295	309
減損損失	337	—
その他	82	17
特別損失合計	801	770
税金等調整前四半期純利益	26,288	31,416
法人税、住民税及び事業税	4,948	5,621
法人税等調整額	1,350	△1,102
法人税等合計	6,298	4,519
少数株主損益調整前四半期純利益	19,989	26,896
少数株主利益	670	1,362
四半期純利益	19,318	25,534

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	19,989	26,896
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	345	448
持分法適用会社に対する持分相当額	205	474
その他の包括利益合計	551	923
四半期包括利益	20,540	27,820
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	19,871	26,454
少数株主に係る四半期包括利益	669	1,365

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						計	調整額 (注) 1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 2
	運輸業	流通業	不動産業	レジャー・ サービス業	建設業	その他 の事業			
営業収益									
(1) 外部顧客に対する 営業収益	98,318	53,846	8,518	6,143	8,184	2,104	177,115	—	177,115
(2) セグメント間の内部 営業収益又は振替高	654	343	3,789	1,620	3,936	1,017	11,361	△11,361	—
計	98,972	54,189	12,307	7,764	12,121	3,121	188,477	△11,361	177,115
セグメント利益	14,848	810	2,039	341	90	65	18,196	130	18,326

(注) 1 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去及びのれん償却額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						計	調整額 (注) 1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 2
	運輸業	流通業	不動産業	レジャー・ サービス業	建設業	その他 の事業			
営業収益									
(1) 外部顧客に対する 営業収益	100,075	52,987	9,608	6,159	8,168	2,008	179,008	—	179,008
(2) セグメント間の内部 営業収益又は振替高	690	494	3,779	1,519	4,288	919	11,691	△11,691	—
計	100,766	53,481	13,388	7,678	12,457	2,927	190,700	△11,691	179,008
セグメント利益	15,430	673	3,160	201	111	117	19,693	141	19,835

(注) 1 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去及びのれん償却額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 補足情報

鉄道事業 輸送人員及び旅客運輸収入内訳表 (単体)

区 分	当第3四半期累計期間	前第3四半期累計期間	増減率
	(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)	(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	
輸 送 人 員	千人	千人	%
定 期	116,751	115,760	0.9
定 期 外	82,326	81,278	1.3
(うち 有料特急)	(3,178)	(3,048)	(4.3)
計	199,077	197,038	1.0
旅 客 運 輸 収 入	百万円	百万円	%
定 期	14,653	14,592	0.4
定 期 外	27,163	26,279	3.4
(うち 有料特急)	(3,057)	(2,901)	(5.4)
計	41,817	40,871	2.3

(注) 輸送人員：千人未満を四捨五入して表示しております。

旅客運輸収入：百万円未満を切り捨てて表示しております。